

2023

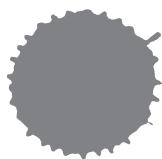
コースガイド

建築デザインコース

2023/4/11 p.30 「15.制作に必要な道具」リンク情報修正

2023/5/8 pp.14-15 「9.履修モデル」修正

2023/8/7 pp.12-13 「8.スクーリング日程表」追加日程反映



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

建築デザインコースでは、身のまわりの生活空間をベースに、環境や未来について、建築の設計やデザインを中心に学びます。日常的に触れることのできる家具や住まい、あるいは学校や図書館など様々なスケールのものを、それを取り巻く人の動きやエネルギーの流れといった多様な環境要素とのつながりを意識しながら考えます。

とはいっても、実際に原寸大の建物を建設して検証をしたり、数学や物理の公式のようなお決まりのパターンのようなものを学習するわけではありません。図面や模型、スケッチ、CGなどを用いて、設定される様々な条件のもとに自らの価値観を盛り込みながら具体的な提案を練り上げていくのです。

建築を通して豊かな生活環境の創造について考える。動くことのない建築が、ダイナミックで多様化する社会の中で、どのような新しい価値観や仕組みをもたらすことができるか、あるいはどのように新しい風景をかたちづくることができるか。ひとりひとりが未来に向けて提案をしていくことが目標です。

まずは、大学の環境を利用して、自分自身で主体的に学び続けられる大学生になってください。そうなれば、どんなに経験を積もうとも、いつまでも夢中になって続けられます。

建築することの奥行きの深さと楽しさを建築デザインコースで肌で感じてください。

目次

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって	2
2. [在学生のみなさんへ] 2022年度からの変更事項と注意点	3
3. 学習を進めるにあたって	4
4. 専門教育科目一覧	5
5. 卒業制作着手要件・卒業要件	6
6. カリキュラムマップ	8
7. 履修条件図	10
8. スクーリング日程表	12
9. 履修モデル	14
10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)	18
11. 専門演習スクーリング科目 (S)	21
12. 学部共通専門教育科目 (TR)	25
13. 各種教材	26
14. パソコンとソフトウェア	27
15. 制作に必要な道具	30
16. 学習支援	32
17. 卒業制作カリキュラムマップ	33

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修計画をたて学習をすすめることが重要です。

入学許可後は、『airU学習ガイド』や『コースガイド』やシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能ですが。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって

皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ大学生活がスタートしました。大学で建築を学ぶことを楽しみながらも、ひとつひとつの課題を取り組むごとにステップアップする自分が実感できるように過ごしてください。

1. airUマイページにアクセスする

建築デザインコースでは、テキスト科目、スクーリング科目ともに学習用 Web サイト「airU マイページ」を利用して学習に取り組みます。課題の提出や教材の閲覧はもちろん、通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）も airU マイページから行うことができます。

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

airU マイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

airU キャンパス <https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/>

▶詳細は airU 学習ガイド>1. まずははじめに参照。

2. ガイダンスに出席する

「新入生ガイダンス」（4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催）に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を進めましょう。履修計画を立てることは学びの一環です。ガイダンス参加は必須ではありませんが、今後、履修をスムーズに進めるためにできる限り参加して下さい。

「新入生ガイダンス」に出席できない方は airU マイページ>教材 BOX >補助教材より建築デザインコースでの学習のすすめ方を動画教材として提供していますので必ずご覧ください。

3. コースイベント「オープンゼミ（何でも学習相談会）」に参加する

建築デザインコースでは毎月「オープンゼミ」・「テキスト科目説明会／学習会」などのイベントを開催しています。履修計画の立て方や課題の取り組み方、スクーリングのこと、建築分野のことで教員に質問したいことがある場合は、気軽に参加してください。学生同士で話せる機会を設けているので、学友を作ることも可能です。日程は月初に airU マイページ>お知らせまたは、airU マイページ>教材 BOX 補助教材で公開します。

4. 履修計画を立てる

まず「卒業要件」を確認してください。次に何年かけて卒業するのか考えてみましょう。それにより1年間で修得すべき単位数が自ずと決まります。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことも念頭におきながら卒業までの履修計画を作成することをお勧めします。作成にあたっては本書 pp.14~17「履修モデル」、本書 pp.6~7「卒業制作着手要件・卒業要件」を参考にしてください。

5. 「環境デザイン概論【建築】（スターター）」を受講する

5月に開講するスクーリング「環境デザイン概論【建築】（スターター）」は、専門演習テキスト科目に実際に取り組んだり、履修計画のチェックを行うガイダンス的な授業です。必修科目ではありませんが学友とのつながりをつくり、今後の自宅学習をスムーズに進めるためにも履修をお勧めします。

▶スクーリング日程は本書 pp.12~13 を、申込方法の詳細は airU 学習ガイド>3. 学習方法>スクーリング科目（S）>スクーリング申込方法参照。

6. 卒業制作着手要件のクリアを目指す

卒業制作に着手するためには、各自定められている「卒業制作着手要件」を所定の期日までに満たしておかなければなりません。特に最短での卒業を目指している方は1年目から計画的に履修を進める必要があります。なお、「卒業制作着手要件」と「卒業要件」は異なります。履修計画をたてる際に注意してください。

▶詳細は本書 pp.6~7「卒業制作着手要件・卒業要件」を参照。

7. 質問方法

学習内容に関する質問は airU マイページ>コンシェルジュ、電子メールより受け付けています。

airU 学習ガイド>9. 学習支援>問い合わせ方法を参照のうえ問い合わせてください。自宅で課題に取り組んでいる際、疑問に感じたことは積極的に質問しましょう。また、教員に相談できる「オープンゼミ」（本書 p.32 参照）も活用してください。なお、事務手続きに関する質問は電話でも受け付けていますが、電話による教員の学習相談は受け付けていません。事務手続きに関する質問は、まずはチャットボットを利用してください。

2. [在学生のみなさんへ] 2023年度からの変更事項と注意点

●コースイベントはオンラインで参加可能です

「オープンゼミ（なんでも学習相談会）」・「テキスト科目説明会／学習会」・「特別講義」等といったコース主催のイベントはビデオ会議アプリケーション [Zoom] を利用したオンライン開催を導入し、インターネット経由でご自宅から参加が可能です。（一部対面実施のみのイベントもございます。）またイベントによっては各キャンパス教室での対面参加（事前申込制）も受け付けます。説明会の詳細と参加方法については、開催時期が近づきましたらairUマイページ>お知らせ等で案内します。コースイベントについては本書p.32もご確認ください。

●全スクーリング科目の遠隔化について

2023年度より全スクーリング科目でZoomを利用した遠隔日程を設けています。各科目の日程および開講形態については2023年度シラバスおよび本書pp.12~13を確認してください。遠隔授業の実施に伴い開講日程毎の開講地表記に遠隔開講の表記を追加しています。

- ・K = 対面：京都瓜生山キャンパス
- ・T = 対面：東京外苑キャンパス
- ・KT = 対面：金沢でのフィールドワーク
- ・E = 遠隔：キャンパスからのオンライン配信（登校不要）

K・T・KT表記の日程は各開講地での2日間の対面授業です。Eの表記の日程は2日間の遠隔授業です。各科目毎に希望される開講形式・開講地の日程を選んでスクーリングへお申し込みください。

なお、卒業制作の開講形式は本書p.23及びairUシラバスをご確認ください。

遠隔で受講することは、自宅で気軽にできるものではありません。

自宅に大学で受講することと同等の作業環境を整えてください。

自宅の作業環境については、本書p.31をご確認ください。

●スクーリング科目遠隔開講及び「環境デザイン[建築]IV-2~3」対面開講の事前課題提出について

スクーリング科目の遠隔開講日程及び「環境デザイン[建築]IV-2~3」対面開講では、開講2日前13:00までに事前課題データを提出してください。

期日までに事前提出できていない場合は、単位認定対象から外れますのでご注意ください。

詳細は本書p.23をご確認ください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、airU学習ガイドもあわせて参照してください。

1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。

本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8
TW	テキスト作品科目	作品 11~20	作品 11~22		作品 11~20	作品 11~21		作品 11~20	作品 11~20		作品 11~22	作品 11~20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20		レポート 21~28	最終講評 13~20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17~25			秋期先行募集 17~25			冬期先行募集 17~25				2024年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12~(開講30~5日前)		夏期追加募集 10~(開講30~5日前)		秋期追加募集 9~(開講30~5日前)			冬期追加募集 9~(開講30~5日前)				
GS	藝術学舎科目			夏季申込 6月初旬~			秋季申込 9月初旬~			冬季申込 12月初旬~			2024年度 春季申込 3月初旬~

- 対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間はairU学習ガイドを参照してください。
- スクーリング科目における追加募集の締切日につきましては、airUマイページ>スクーリング>「スクーリングを申し込む」>スクーリング一覧より確認してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることができます。

詳細はairU学習ガイド>学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュールを確認してください。

3. 課題提出方法

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）で受験できます。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページより手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。テキスト科目の履修に役立つ講座、より広く深い学びにつながる講座が多くあります。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関してはairU学習ガイド>教育課程>単位認定>藝術学舎取得単位の認定を確認してください。

4. 専門教育科目一覧

卒業要件等に関しては、まず本書 pp.6~7 を読むこと。

編入学生の卒業要件は「入学許可証・卒業要件通知」で必ず確認してください。

〈凡例〉 TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目 S: スクーリング科目

●: 必修科目、○: いずれか選択必修

科目群	科目区分	科目一覧			卒業要件		配当年次 (注 1)	
		科目コード	科目名	単位数	ST	1 年次入学	3 年次編入学	
						124 単位以上 (S 科目 30 単位以上)	72 単位以上 (注 2)	
総合教育科目	18005	情報		2	TR	●	●	1 年次～
	閉講	情報基礎 (パソコン入門) (注 3)		2	T	(注 3) (注 5)	(注 3)	
学部共通専門教育科目	40645	都市概論		2	TR	●	●	1 年次～
	40646	住宅概論		2	TR	●	●	
	40647	建築史 1 (近代)		2	TR	●	●	
	40648	建築史 2 (西洋)		2	TR	○	○	
	40649	建築史 3 (日本)		2	TR	○	○	
	40650	建築環境工学		2	TR	●	●	
	40651	建築設備		2	TR	●	●	
	40652	建築材料		2	TR	●	●	
	40653	建築生産		2	TR	●	●	
	40654	建築法規		2	TR	●	●	
	40655	構造力学 1		2	TR	●	●	
	40656	構造力学 2		2	TR	●	●	
						22 単位以上	22 単位以上	
	72601	デザイン基礎 1 (建築)		2	TW	●	●	1 年次～
	72602	デザイン基礎 2 (建築)		2	TW	●	●	
	72605	環境デザイン演習 [建築] I-1		2	TW	●	●	
	72606	環境デザイン演習 [建築] I-2		2	TW	●	●	
専門教育科目	72603	環境デザイン基礎 1 (建築)		2	TW	●	●	2 年次～
	72604	環境デザイン基礎 2 (建築)		2	TW	●	●	
	72607	環境デザイン演習 [建築] II-1		2	TW	●	●	
	72608	環境デザイン演習 [建築] II-2		2	TW	●	●	
	72609	環境デザイン演習 [建築] III-1		2	TW	●	●	3 年次～
	72610	環境デザイン演習 [建築] III-2		2	TW	●	●	
	72611	環境デザイン演習 [建築] IV		4	TX	●	●	
						24 単位	24 単位	
	72033	環境デザイン概論 [建築]		1	S	(注 4)	(注 4)	1 年次～
	72061	環境デザイン [建築] I-1		1	S	●	●	
	72062	環境デザイン [建築] I-2		1	S	●	●	
	72063	環境デザイン [建築] I-3		1	S	●	●	
	72064	環境デザイン [建築] II-1		1	S	●	●	
	72065	環境デザイン [建築] II-2		1	S	●	●	
コース専門演習T科目	72066	環境デザイン [建築] II-3		1	S	●	●	2 年次～
	72067	環境デザイン [建築] III-1		1	S	●	●	
	72068	環境デザイン [建築] III-2		1	S	●	●	
	72069	環境デザイン [建築] III-3		1	S	●	●	
	72070	環境デザイン [建築] IV-1		1	S	●	●	
	72071	環境デザイン [建築] IV-2		1	S	●	●	
	72072	環境デザイン [建築] IV-3		1	S	●	●	3 年次～
	72073	環境デザイン [建築] V-1		1	S	●	●	
	72074	環境デザイン [建築] V-2		1	S	●	●	
	72075	環境デザイン [建築] V-3		1	S	●	●	
	72076	環境デザイン [建築] V-4		1	S	●	●	
	72077	環境デザイン [建築] V-5		1	S	●	●	
	72078	環境デザイン [建築] V-6		1	S	●	●	4 年次
	72091	卒業制作 (建築デザイン)		6	S	●	●	
						24 単位以上	24 単位以上	
その他		総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択						
					総合計	124 単位以上	72 単位以上	

(注 1) 配当年次: 履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に別途、履修条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

(注 2) 2016 年度以前の 2 年次編入学生 (卒業要件が 84 単位以上) の必修科目は「3 年次編入学」の欄を参照ください。

(注 3) 「情報」必修。2016 年度まで開講の「情報基礎 (パソコン入門)」を単修修得済みでも可。

(注 4) コース専門演習科目の進め方・履修計画について解説を行うガイダンス的なスクーリング授業です。必修科目ではありませんが、入学後、まず受講されることをお勧めします。

(注 5) 2017 年度より総合教育科目「情報」(テキスト科目 2 単位)が必修です。年限退学時再入学の場合は、再入学年度の卒業要件が適用されるため、2016 年以前の入学生の方は前学籍で総合教育科目「情報基礎 (パソコン入門)」を単位修得済みの場合も、再入学後にあらためて「情報」の修得が必要です。

資格の取得

建築デザインコースでは卒業要件を満たすことで、一級建築士・二級建築士・木造建築士の受験資格を取得することができます。詳細は airU 学習ガイド > 10. 資格 > 課程登録および受講料が不要な資格を参照。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」(下記【1】)を満たせば卒業年度前半のスクーリング「卒業制作(建築デザイン)1、2」が受講でき、秋期スクーリング申込の所定の時期(下記【3】)までに「卒業制作(建築デザイン)3~6の履修の前提条件」(下記【2】)を満たせば「卒業制作(建築デザイン)3~6」が受講できます。

受講申込時期は「卒業制作(建築デザイン)1、2」が春期(2023/3/27~30)、「卒業制作(建築デザイン)3~6」が秋期(下記【3】)です。

- ・「卒業制作3~6の履修の前提条件」を卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに前提条件を満たすことをお薦めします。
- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2023年度卒業予定者のスケジュール等はairU学習ガイド>3. 学習方法>卒業判定を参照してください。

【1】卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件) (注3)	科目群	修得すべき 単位数	備考(左記のうち、修得すべき科目など)
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	必修22単位から選択(注2)
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2(建築)」「環境デザイン演習 [建築] I・II」「環境デザイン基礎1・2(建築)」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「環境デザイン[建築] I・II・III・IV」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在学していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (72単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	必修22単位から選択(注2)
	コース専門演習T科目	16単位以上	「デザイン基礎1・2(建築)」「環境デザイン演習 [建築] I・II」「環境デザイン基礎1・2(建築)」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「環境デザイン[建築] I・II・III・IV」必修
	その他		
	合計	40単位以上	1年以上在学していること(休学期間を除く)

【2】「卒業制作3~6」の履修の前提条件

入学区分(卒業要件)	科目群	科 目
全 て	コース専門演習T科目	「環境デザイン演習[建築] III-1、III-2」を合格済み
		「環境デザイン[建築] V-1~6」を合格済み
	コース専門演習S科目	「卒業制作1・2」を履修中

※「合格済み」とは成績(履修状況)が「単位修得見込み」または「単位修得済」であることを指します。

【3】「卒業制作(3~6)」受講申込時期と履修の前提条件の合格時期

【2】の条件を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作3~6」が申込できます(本科目の「追加募集」に定員漏れはありません)。なお、8月下旬から9月度までのスクーリングで条件を満たす場合は9/28(木)の13:00より申込可能となります。

スクーリング 開催回	申込時期 (13:00まで)	テキスト科目的合格期日		スクーリング科目的合格期日	
		環境デザイン演習[建築] III-1、 環境デザイン演習[建築] III-2	環境デザイン[建築] V-1~6	卒業制作1、2	
秋期 (10~12月開講)	先行	8/17~25【必着】	7月度(7/20【必着】)までに 提出の課題が合格済み	7月末までに合格済み	履修中
	追加	9/9~10/3(※)	8月度(8/21【必着】)までに 提出の課題が合格済み	9月末までに合格済み (※)	

(※)「環境デザインV-1~6」を8月下旬に受講した場合は、スクーリングの成績が9月末に公開される9/28(木)13:00以降に「卒業制作3~6」の申込みが可能となります。

※「合格済み」とは成績(履修状況)で「単位修得見込み」または「単位修得済」であることを指します。

【4】卒業制作の単位認定と「環境デザイン演習〔建築〕Ⅳ」(TX4 単位) の提出期間

- 卒業制作はTX科目「環境デザイン演習〔建築〕Ⅳ」(4単位)とスクーリング科目「卒業制作」(6単位)を一括認定します。したがって、TX科目の1つあるいはスクーリング科目の1つでも合格できなければどちらの科目も単位認定できません。
- 「環境デザイン演習〔建築〕Ⅳ」第1課題の提出期間は(10/11~20【必着】)、第2課題の提出期間は(2/1~5【必着】)です。提出期間に留意して計画的に学習をすすめてください。

2. 卒業要件について

2023年度卒業予定の方は卒業関連科目(「卒業制作」「環境デザイン演習〔建築〕Ⅳ」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。秋期(10月~12月)までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月度の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。

入学区分(卒業要件) (注1)	科目群	修得すべき単位数	備考(左記のうち、修得すべき科目など)
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	「情報」または「情報基礎(パソコン入門)」(注4)(注5)必修
	学部共通専門教育科目	22単位以上	(注2)(注6)
	コース専門演習T科目	24単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「環境デザイン〔建築〕Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」、「卒業制作」必修
	その他	(注3)	
	合計	124単位以上	スクーリング科目(WS・S・GS)30単位以上
3年次編入学 (72単位以上)	総合教育科目	指定なし	「情報」または「情報基礎(パソコン入門)」(注4)必修
	学部共通専門教育科目	22単位以上	(注2)(注6)
	コース専門演習T科目	24単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「環境デザイン〔建築〕Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」、「卒業制作」必修
	その他		
	合計	72単位以上	

編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」を確認してください。

- (注1) 2年次編入学(卒業要件84単位以上)の卒業要件および卒業制作着手要件は、3年次編入学(卒業要件72単位以上)に同じ。ただし、卒業要件では合計単位数が84単位以上あること、3年以上在学していること(休学期間を除く)。卒業制作着手要件では合計単位数が50単位以上、2年以上在学していること(休学期間除く)。
- (注2) 卒業要件では「都市概論」「住宅概論」「建築史1(近代)」「建築史2(西洋)または建築史3(日本)」「建築環境工学」「建築設備」「建築材料」「建築生産」「建築法規」「構造力学1」「構造力学2」の11科目(22単位)が必修。卒業制作着手要件ではこれら11科目から6科目(12単位)が必修。
- (注3) 「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・T科目(編入学生で必修以外の科目がある場合)、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。
- (注4) 2016年度まで開講の「情報基礎(パソコン入門)」を単位修得済みでも可。
- (注5) 2017年度より総合教育科目「情報」(テキスト科目2単位)が必修です。再入学の場合は、年限退学時再入学年度の卒業要件が適用されるため、2016年以前の入学の方は前学籍で総合教育科目「情報基礎(パソコン入門)」を単位修得済みの場合も、再入学後にあらためて「情報」修得が必要です。
- (注6) 選択必修である「建築史2(西洋)または建築史3(日本)」のいずれかの科目に合格をしていた場合は、もう1科目は冬期特別履修制度の対象とはなりません。

6. カリキュラムマップ カリキュラムの内容と関連性

卒業までに身に付けるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系性が俯瞰できる図です。履修計画の参考にしてください。

1年次 名建築を題材に製図・模型の基本的な技術を学び美しく空間を表現する技術を身につける

空間の実践	複合プログラム 周辺環境の特性や不特定多数の利用者の視点に立った魅力ある公共空間を設計する。	
	リサーチ・スタディ 都市における様々な要素や人々のアクティビティについて観察し場所の特性を分析。その場に必要な建築を考える。	
空間の発見	設計手法 - 風景・環境 建築と周辺環境との関わり合いについて理解を深め、環境に対してどのように建築を考えたら良いのかを学ぶ。	
	設計手法 - 構造・構法 構造や設備に目を向けデザインを成立させる実際的な建築のしくみを学ぶ。	
魅力の発見	設計手法 - 立体構成 平面的な思考ではなく3次元空間として建築を考える力を身につける。	S 環境デザイン「建築」II-1 必 空間表現1「言葉と空間」
	設計手法 - 平面構成 平面的に必要な諸機能を満たす建築空間を設計する力を身につける。	S 環境デザイン「建築」II-3 必 空間表現2「コートハウス」
知識の習得	立体表現 構想する3次元空間を縮尺のある模型やCADによるコンピュータモデルとして表現する力を身につける。	TW デザイン基礎2（建築） 必 立体構成と模型「巨匠模型」 S 環境デザイン「建築」I-3 必 立体表現「模型基礎」
	平面表現 構想する3次元空間をスケッチや図面といった2次元の平面表現に変換する力を身につける。	TW デザイン基礎1（建築） 必 作図基礎「ドリル教材に学ぶ」 S 環境デザイン「建築」I-2 必 ドローイング「次元変換の試み」 TW 環境デザイン演習「建築」I-2 必 トレース「名建築に倣う1」 S 環境デザイン「建築」II-2 必 平面表現「美しいドローイング」
知識の習得	名建築・建築史 古今東西の名建築を知り、その建築空間の魅力を読み解く。時代背景や建築を取り巻く人、社会環境にも興味を広げ建築の興味を深める。	TR 建築史1（近代） 必 TR 建築史2（西洋）または 必 建築史3（日本）
	構造・工法 建築を具現化するために必要な構造や材料について合理的かつ審美的に計画する力を身につける。	TR 構造力学1 必 TR 環境デザイン演習「建築」I-1 必 空間特性と表現「名建築を語る」 S 環境デザイン「建築」I-1 必 フィールドワーク「空間と環境」
知識の習得	環境・設備 建築と環境の関係や建築を快適にするための設備に関する知識を身につける。	
	法規・生産 建築を規定する法規や建設するために必要なコスト管理や施工計画・管理に関する知識を身につける。	TR 住宅概論 必

2年次 小規模空間の設計。空間をつくる手法を学び、魅力的な空間を発見し表現する。 3年次 中規模公共空間の設計。環境を読み取り設計するプロセスを通して実践力を養う。 4年次 卒業制作。現代社会で必要とされる建築を自ら提案し、公共建築を設計する。

TR 環境デザイン演習「建築」III-2 必 複合施設「地域のコミュニティセンター」設計の提案	TX 環境デザイン演習「建築」IV 必 卒業制作
S 環境デザイン「建築」V-4 必 風景と構成「パーサージュのある図書館」	S 卒業制作 1~6 必 卒業制作
TR 環境デザイン演習「建築」III-1 必 フィールドスタディ「地域のコミュニティセンター」敷地の提案	S 環境デザイン「建築」V-3 必 場のかたち「図書館」
S 環境デザイン「建築」V-1 必 風景「祈りの空間」	
S 環境デザイン「建築」V-2 必 環境 2「環境をかたちにする_公共編」	
TR 環境デザイン基礎 2（建築） 必 一般構造「名建築に倣う 2」	S 環境デザイン「建築」V-6 必 架構「大きな屋根のある小さな町の駅」
S 環境デザイン「建築」IV-1 必 住宅架構「住宅架構のスタディ」	
S 環境デザイン「建築」III-3 必 集住「ドミニトリー」	
TR 環境デザイン基礎 1（建築） 必 住宅設計 2「構成・7層をもつワンルームの家」	
TR 環境デザイン演習「建築」II-2 必 住宅設計 3「集住体を考える」	
TR 環境デザイン演習「建築」II-1 必 住宅設計 1「仕事と庭と部屋」	
S 環境デザイン「建築」III-1 必 寸法 1「スケールスタディ」	S 環境デザイン「建築」V-5 必 寸法 2「となりの美術館」
S 環境デザイン「建築」IV-3 必 CAD「CAD 基礎」	
S 環境デザイン「建築」IV-2 必 表現「CAD プレゼンテーション」	
TR 構造力学 2 必	TR 都市概論 必
TR 建築材料 必	
TR 建築環境工学 必	TR 建築設備 必
	TR 建築法規 必
	TR 建築生産 必

7. 履修条件図

その他

学部共通専門教育科目
TR

テキスト科目
TW/TX

構造力学2

必

構造力学1

必

建築材料

必

建築生産

必

建築法規

必

建築環境工学

必

建築設備

必

建築史2(西洋)
または
建築史3(日本)

必

建築史1(近代)

必

都市概論

必

住宅概論

必

情報
または
情報基礎(パソコン入門)※

総合教育科目/TR

※2016年度まで開講

!
総合教育科目「情報」
は必修。その他は任意
に選択して履修。
(注1) 1年次入学の場
合、コースの必修科目
以外にも卒業制作着
手要件および卒業要
件を充足するために必
要な単位数がある。

!
卒業制作着手要件クリアに学部共通専門
教育科目の必修22単
位の中から12単位以
上の修得が必要。

環境デザイン演習 [建築] IV

❶ 提出期間 2/1~5【必着】

卒業制作

「卒業制作作品 ウェブポートフォリオ」

第2課題 必

△ 合格後

環境デザイン演習 [建築] IV

❶ 提出期間 10/11~20【必着】

卒業制作

「卒業制作テーマ審査」

第1課題 必

「卒業制作3~6」の履修の前提条件

△ 3年次TW科目全て合格後
4年次TX科目へ

環境デザイン演習 [建築] III-1

フィールドスタディ

「地域のコミュニティセンター」

敷地の提案

環境デザイン演習 [建築] III-2

複合施設

「地域のコミュニティセンター」

設計の提案

△ 2科目同時履修可

卒業制作着手要件(着手の前年度内にクリアすること)

△ 2年次TW科目全て合格後
3年次TW科目へ

環境デザイン演習 [建築] II-2

住宅設計 3

「集住体を考える」

環境デザイン基礎 2 (建築)

一般構造

「名建築に倣う 2」

△ 4科目同時履修可

環境デザイン演習 [建築] II-1

住宅設計 1

「住と庭と部屋」

環境デザイン基礎 1 (建築)

住宅設計 2

「構成・7層をもつ
ワンルームの家」

△ 1年次TW科目全て合格後
2年次TW科目へ

環境デザイン演習 [建築] I-2

トレース

「名建築に倣う 1」

デザイン基礎 2 (建築)

立体構成と模型

「巨匠模型」

△ 4科目同時履修可

環境デザイン演習 [建築] I-1

空間特性と表現

「名建築を語る」

デザイン基礎 1 (建築)

作図基礎

「ドリル教材に学ぶ」

必

スクーリング科目

S

必 必修科目 選 選択科目

卒業制作 3

ディプロマ（展開 2）「ゼミ・スタジオ 2」

必

「卒業制作3～6」の履修の前提条件クリア

!

卒業制作 2

ディプロマ（展開 1）「ゼミ・スタジオ 1」

必

卒業制作 1

ディプロマ（計画）「デザイン・スタジオ」

必

卒業制作 6

ディプロマ（発表）

「ファイナル・プレゼンテーション」

必

卒業制作 5

ディプロマ（表現）

「プレゼンテーション・スタジオ」

必

卒業制作 4

ディプロマ（展開 3）「ゼミ・スタジオ 3」

必

テーマや敷地、プログラムなどの諸条件を設定し、幾重ものスタディを通してアイデアを定着させて社会に向けて発信できる作品にまとめあげます。

4年次

「卒業制作3～6」の履修の前提条件

▲ 3年次 5科目・卒業制作 1、2 全て合格後

環境デザイン [建築] V-3

場のかたち

「図書館」

必

環境デザイン [建築] V-6

架構

「大きな屋根のある小さな町の駅」

必

環境デザイン [建築] V-2

環境 2 「環境をかたちにする_公共編」

必

環境デザイン [建築] V-5

寸法 2

「となりの美術館」

必

環境デザイン [建築] V-1

風景

「祈りの空間」

必

環境デザイン [建築] V-4

風景と構成

「パーサージュのある図書館」

必

3年次スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎 1（建築）」「環境デザイン演習 [建築] II-1」の両方を合格済みのこと

卒業制作着手要件（着手の前年度内にクリアすること）

1・2年次で得た経験を応用して中規模公共空間の設計に取り組みます。環境の読み取りや課題を自ら設計するプロセスを通して実践力を養います。

3年次

環境デザイン [建築] III-3

集住

「ドミトリー」

必

環境デザイン [建築] IV-3

CAD

「CAD基礎」

必

環境デザイン [建築] III-2

環境 1 「環境をかたちにする_住宅編」

必

環境デザイン [建築] IV-2

表現

「CAD プrezentation」

必

環境デザイン [建築] III-1

寸法 1

「スケールスタディ」

必

環境デザイン [建築] IV-1

住宅架構

「住宅架構のスタディ」

必

1年次で得た基礎知識と技術をもとに小規模空間の設計に取り組みます。空間をつくる手法について学び考え魅力的な空間を発見し表現します。

2年次

環境デザイン [建築] I-3

立体表現

「模型基礎」

必

環境デザイン [建築] II-3

空間表現 2

「コートハウス」

必

環境デザイン [建築] I-2

ドローイング

「次元変換の試み」

必

環境デザイン [建築] II-2

平面表現

「美しいドローイング」

必

環境デザイン [建築] I-1

フィールドワーク

「空間と環境」

必

環境デザイン [建築] II-1

空間表現 1

「言葉と空間」

必

環境デザイン概論 [建築]

スタートー

「見てみよう、調べてみよう、描いてみよう」

選

名建築を題材に製図・模型の基本的な技術を繰り返し学びます。建築の魅力について学び考え美しく表現するための技術を身につけます。

1年次

8. スクーリング日程表

スクーリング科目の受講が先行する傾向があります。TW科目・TR科目も並行して進めるよう心掛けましょう。

日程	【選択科目】環境デザイン概論【建築】 環境デザイン【建築】I-1～II-3			環境デザイン【建築】III-1～IV-3		
	1年次配当			2年次配当		
	京都	東京■	オンライン	京都	東京■	オンライン
4/15(土)～4/16(日)						
4/22(土)～4/23(日)						環境デザイン【建築】 III-1寸法1211E
4/29(土)～4/30(日)						
5/6(土)～5/7(日)						
5/13(土)～5/14(日)	環境デザイン概論【建築】 スターー 001K				環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 241T	
5/20(土)～5/21(日)	環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 131K	環境デザイン概論【建築】 スターー 002T	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 151E			環境デザイン【建築】 III-2 環境 1221E
5/27(土)～5/28(日)	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 151K		環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 132E II-2 平面表現 151E 環境デザイン概論【建築】 スターー 003E			
6/3(土)～6/4(日)		環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 133T	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 152E			
6/10(土)～6/11(日)	環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 137K	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 153T	環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 138E			
6/17(土)～6/18(日)						環境デザイン【建築】 III-3 集住 231E
6/24(土)～6/25(日)	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 154K	環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 134T	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 158E	環境デザイン【建築】 III-1寸法1212K		
7/1(土)～7/2(日)			環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 161E	環境デザイン【建築】 IV-3 CAD261K		
7/8(土)～7/9(日)						
7/15(土)～7/16(日)	環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 121K	環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 162T				環境デザイン【建築】 IV-3 CAD 262E
7/22(土)～7/23(日)		環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 122T				
7/29(土)～7/30(日)	環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 163K			環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 242K		
8/5(土)～8/6(日)		環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 127T	環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 164E			
8/19(土)～8/20(日)	環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 128K		環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 141E	環境デザイン【建築】 III-3 集住 232K		
8/26(土)～8/27(日)		環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 142T			環境デザイン【建築】 III-2 環境 1222T	
9/2(土)～9/3(日)	環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 143K		環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 167E			環境デザイン【建築】 IV-2 表現 251E
9/9(土)～9/10(日)		環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 123T	環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 144E		環境デザイン【建築】 IV-2 表現 252T	
9/16(土)～9/17(日)		環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 147T				
9/23(土)～9/24(日)	環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 148K		環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 124E			
9/30(土)～10/1(日)		環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 168T		環境デザイン【建築】 IV-3 CAD263K	環境デザイン【建築】 III-2 環境 1223T	
10/7(土)～10/8(日)	環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 155K			環境デザイン【建築】 III-1寸法1213K	環境デザイン【建築】 IV-3 CAD264T	
10/14(土)～10/15(日)		環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 117T、119T			環境デザイン【建築】 III-1寸法1214T	
10/21(土)～10/22(日)	環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 111K			環境デザイン【建築】 III-2 環境 1224K		
10/28(土)～10/29(日)		環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク112T、120T			環境デザイン【建築】 IV-3 CAD 265T	環境デザイン【建築】 III-1寸法1215E
11/4(土)～11/5(日)	環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 113K			環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 243K		
11/11(土)～11/12(日)		環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク114T、121T				環境デザイン【建築】 III-2 環境 1225E
11/18(土)～11/19(日)						環境デザイン【建築】 III-3 集住 233E
11/25(土)～11/26(日)			環境デザイン【建築】 II-2 平面表現 156E		環境デザイン【建築】 IV-2 表現 253T	
12/2(土)～12/3(日)	環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 118K	環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 135T		環境デザイン【建築】 III-3 集住 234K		環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 244E
12/9(土)～12/10(日)						環境デザイン【建築】 III-3 集住 235E
12/16(土)～12/17(日)	環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 125K			環境デザイン【建築】 IV-2 表現 254K		
12/23(土)～12/24(日)			環境デザイン【建築】 I-3 立体表現 136E	環境デザイン【建築】 III-2 環境 1226K		
1/6(土)～1/7(日)			環境デザイン【建築】 I-2 ドローイング 126E			環境デザイン【建築】 IV-2 表現 255E
1/13(土)～1/14(日)			環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 115E			環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 245E
1/20(土)～1/21(日)						
1/27(土)～1/28(日)	環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 165K					環境デザイン【建築】 IV-3 CAD 266E
2/3(土)～2/4(日)		環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 145T			環境デザイン【建築】 IV-1 住宅架構 246T	
2/10(土)～2/11(日)		環境デザイン【建築】 II-3 空間表現 2 166T			環境デザイン【建築】 III-3 集住 236T	
2/17(土)～2/18(日)	環境デザイン【建築】 II-1 空間表現 1 146K		環境デザイン【建築】 I-1 フィールドワーク 116E	環境デザイン【建築】 IV-2 表現 256K		環境デザイン【建築】 III-1寸法1216E

NOについて	①【年次／難易度】「選択科目」=0「1年次」=1「2年次」=2「3年次」=3「4年次」=4 ②各カテゴリを示す ③カテゴリごとの開講順 ④【開催地】京都(大阪)=K 東京=T 金沢=KT 遠隔(オンライン)=E
216T	①②③④

- ・各申込スケジュールはairU学習ガイド>3. 学習方法をご確認ください。
- ・airU申込みは申込締切日13:00まで。
- ・追加募集申込のスケジュールと空き状況は、airUマイページで確認してください。

環境デザイン [建築] V-1 ~ 6			卒業制作			日程	申回回
3 年次配当			4 年次配当				
京都	東京	オンライン	京都	東京	オンライン		
環境デザイン [建築] V-3 場のかたち 331K						4/15(土)~4/16(日)	春期 (4・5・6月) 4/1 ~ 6/30
	環境デザイン [建築] V-3 場のかたち 332E					4/22(土)~4/23(日)	
		環境デザイン [建築] V-1 風景 311E				4/29(土)~4/30(日)	
	環境デザイン [建築] V-1 風景 312T		「卒業制作1、2」のスクーリング先行申込は 3月27日(月)~3月30日(木)です。			5/6(土)~5/7(日)	
						5/13(土)~5/14(日)	
環境デザイン [建築] V-4 風景と構成 341K						5/20(土)~5/21(日)	
						5/27(土)~5/28(日)	
						6/3(土)~6/4(日)	
	環境デザイン [建築] V-2 環境 2 321T		卒業制作 (建築デザイン) 1ディプロマ 411K		卒業制作 (建築デザイン) 1ディプロマ 412E	6/10(土)~6/11(日)	
環境デザイン [建築] V-2 環境 2 322K				卒業制作 (建築デザイン) 1ディプロマ 413T		6/17(土)~6/18(日)	
		環境デザイン [建築] V-5 寸法 2 351E				6/24(土)~6/25(日)	
	環境デザイン [建築] V-5 寸法 2 352T						夏期 (7・8・9月) 7/1 ~ 9/30
環境デザイン [建築] V-6 架構 361K						7/1(土)~7/2(日)	
						7/8(土)~7/9(日)	
						7/15(土)~7/16(日)	
						7/22(土)~7/23(日)	
		環境デザイン [建築] V-4 風景と構成 342E				7/29(土)~7/30(日)	
	環境デザイン [建築] V-6 架構 362T					8/5(土)~8/6(日)	
						8/19(土)~8/20(日)	
						8/26(土)~8/27(日)	
						9/2(土)~9/3(日)	
						9/9(土)~9/10(日)	
			卒業制作 (建築デザイン) 2ディプロマ 421T		卒業制作 (建築デザイン) 2ディプロマ 422E	9/16(土)~9/17(日)	秋期 (10・11・12月) 10/1 ~ 12/31
			卒業制作 (建築デザイン) 2ディプロマ 423K			9/23(土)~9/24(日)	
						9/30(土)~10/1(日)	
	環境デザイン [建築] V-3 場のかたち 333T					10/7(土)~10/8(日)	
						10/14(土)~10/15(日)	
環境デザイン [建築] V-5 寸法 2 353K			卒業制作 (建築デザイン) 3ディプロマ 431K		卒業制作 (建築デザイン) 3ディプロマ 432E	10/21(土)~10/22(日)	
				卒業制作 (建築デザイン) 3ディプロマ 433T		10/28(土)~10/29(日)	
		環境デザイン [建築] V-3 場のかたち 334E				11/4(土)~11/5(日)	
	環境デザイン [建築] V-2 環境 2 323KT					11/11(土)~11/12(日)	
			卒業制作 (建築デザイン) 4ディプロマ 441K			11/18(土)~11/19(日)	
		環境デザイン [建築] V-5 寸法 2 354E		卒業制作 (建築デザイン) 4ディプロマ 442T	卒業制作 (建築デザイン) 4ディプロマ 443E	11/25(土)~11/26(日)	
環境デザイン [建築] V-1 風景 313K						12/2(土)~12/3(日)	
						12/9(土)~12/10(日)	
		環境デザイン [建築] V-2 環境 2 324E				12/16(土)~12/17(日)	
			卒業制作 (建築デザイン) 5ディプロマ 451K		卒業制作 (建築デザイン) 5ディプロマ 452E	12/23(土)~12/24(日)	
							冬期 (1・2・3月) 1/1 ~ 3/31
			卒業制作 (建築デザイン) 5ディプロマ 453T		卒業制作 (建築デザイン) 5ディプロマ 454E	1/6(土)~1/7(日)	
		環境デザイン [建築] V-6 架構 363E				1/13(土)~1/14(日)	
						1/20(土)~1/21(日)	
	環境デザイン [建築] V-6 架構 364T		卒業制作 (建築デザイン) 6ディプロマ 461K	卒業制作 (建築デザイン) 6ディプロマ 462T	卒業制作 (建築デザイン) 6ディプロマ 463E 卒業制作 (建築デザイン) 6ディプロマ 464E	1/27(土)~1/28(日)	
		環境デザイン [建築] V-1 風景 314E				2/3(土)~2/4(日)	
						2/10(土)~2/11(日)	
	環境デザイン [建築] V-4 風景と構成 344T					2/17(土)~2/18(日)	

※1) 「卒業制作1、2」は春期（4~6月）開講分の申込期間にて2科目を同時に申し込み。

※2) 「卒業制作3~6」は秋期（10~12月）開講分の申込期間にて4科目を同時に申し込み。

※3) 「卒業制作1~6」の各配信地は本書p.23で確認する。

9. 履修モデル

大学では自分自身で履修プランを立てて学習を進めることが重要です。このページから入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながらスクーリング日程表で各期の開講日程を確認し、ご自身の都合に合わせて、履修プランを立ててみましょう。

スクーリング日程は京都対面開講（一部遠隔開講）の日程です。履修モデルでのスクーリング開講月に申し込みが定員超過、抽選となります。スクーリングは原則、複数日程で開講していますので、各自でスクーリング日程表を確認して選択してください。S科目、TR科目、TW科目をバランスよく履修することが、卒業につながる学び方です。

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

4年間で学習する場合

1年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※4)	ことばと表現	1	TR		レポート	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	色彩と形	2	TR			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	はじめての共通科目	1	S			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	数と世界	2	S						△	△	△	△	△	△	△	△	△
	社会学への階段	1	S											△	△	△	△
学部共通 専門教育科目 (※4)	住宅概論	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	建築史1(近代)	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	建築史2(西洋)※または建築史3(日本)	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	構造力学1	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	芸術史講義(ヨーロッパ)1	2	WS		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	芸術史講義(ヨーロッパ)2	2	WS		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	学芸専門演習1	1	GS														GS
	デザイン基礎1(建築)	2	TW	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
専門教育科目	デザイン基礎2(建築)	2	TW	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン演習[建築]I-1	2	TW	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン演習[建築]I-2	2	TW	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン概論[建築]「スター」	1	S			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン[建築]I-1「フィールドワーク」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン[建築]I-2「ドローイング」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン[建築]I-3「立体表現」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン[建築]II-1「空間表現1」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン[建築]II-2「平面表現」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	環境デザイン[建築]II-3「空間表現2」	1	S	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		35	(1年目の修得単位数)														

2年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※4)	情報	2	TR	●	レポート	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	デッサン	2	TW			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	身体と表現	2	S			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	哲学への階段	1	S			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
専門教育科目 (※4)	コラージュ・デッサン	2	TW			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	建築環境工学	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	建築材料	2	TR	●	レポート	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	構造力学2	2	TR	●		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	立体造形演習1	2	TW			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	立体造形演習2	2	TW			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	芸術史講義(近現代)1	2	WS		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	芸術教養基礎	1	S			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

(※ 1) TR : テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目

S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目 GS: 藝術学舎科目

(※ 2) ● = 必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
空白 = 選択科目

(※ 3) 卒業判定にかかる年度は卒業制作関連科目以外を冬期（1～3月）に履修することはできません。年度当初から計画的な履修計画を立ててください。

(※ 4) 選択科目については一例です。各科目シラバス、藝術学舎HPで単位数や前提条件等を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。

	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目 2年目	専門演習 テキスト科目	環境デザイン基礎1(建築)	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●												
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1	2	TW	●			第1課題									
		環境デザイン演習[建築]Ⅱ-2	2	TW	●												
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン[建築]Ⅲ-1「寸法1」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築]Ⅲ-2「環境1」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅲ-3「集住」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅳ-1「住宅架構」	1	S	●					2日間							
		環境デザイン[建築]Ⅳ-2「表現」	1	S	●									2日間			
		環境デザイン[建築]Ⅳ-3「CAD」	1	S	●						2日間						
			36	(2年目の修得単位数)													

	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (※4) 専門教育科目 3年目	総合教育科目 (※4)	都市デザイン論	2	TR					レポート		試験							
		外国語1	2	TR										レポート		試験		
		自然学への階段	1	S											2日間			
		メディア論への階段	1	S			2日間											
		学芸基礎講義1	1	GS							GS							
		学芸基礎講義2	1	GS												GS		
専門教育科目 専門演習 テキスト科目	学部共通 専門教育科目 (※4)	芸術史講義(アジア)1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴										
		都市概論	2	TR	●	レポート		試験										
		建築設備	2	TR	●				レポート		試験							
		建築法規	2	TR	●							レポート		試験				
		芸術史講義(近現代)2	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴							
		学芸専門演習2	1	GS		GS												
		学芸専門演習3	1	GS												GS		
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の 定めなし	環境デザイン演習[建築]Ⅲ-1	2	TW	●				第1課題									
		環境デザイン演習[建築]Ⅲ-2	2	TW	●									第1課題				
		環境デザイン[建築]V-1「風景」	1	S	●										2日間			
			環境デザイン[建築]V-2「環境2」	1	S	●		2日間										
			環境デザイン[建築]V-3「場のかたち」	1	S	●	2日間											
			環境デザイン[建築]V-4「風景と構成」	1	S	●		2日間										
			環境デザイン[建築]V-5「寸法2」	1	S	●								2日間				
			環境デザイン[建築]V-6「架構」	1	S	●				2日間								
			30	(3年目の修得単位数) 翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。														

	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (※1)	必修 (※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (※4) 専門教育科目 4年目	総合教育科目 (※4)	文化研究1	2	TR		レポート		試験									
		地域環境論	2	TR					レポート		試験						
		民俗学への階段	1	S							2日間						
		学芸基礎講義3	1	GS		GS											
		学芸基礎講義4	1	GS							GS						
専門教育科目 専門演習 テキスト科目	学部共通 専門教育科目 (※4)	建築生産	2	TR	●	レポート		試験									
		芸術史講義(日本)1	2	WS		動画 視聴	レポート	講評 視聴									
		芸術史講義(日本)2	2	WS					動画 視聴	レポート	講評 視聴						
	専門演習 スクーリング科目	環境デザイン演習[建築]Ⅳ	4	TX	●												
		「ディプロマ(計画)」	6	S					2日間								
		「ディプロマ(展開1~3)」										2日間	2日間	2日間			
		「ディプロマ(表現)」												2日間			
		「ディプロマ(発表)」													2日間		
			23	(4年目の修得単位数)													

124	(合計修得単位数)
-----	-----------

卒業判定にかかる
方は卒業関連科目
以外の科目を冬期
(1~3月)に履修す
ることはできませ
ん。

3年次編入学生履修モデル [卒業要件72単位以上]

スクーリングは原則、複数日程で開講していますので、各自でスクーリング日程表を確認して、選択してください。S科目、TR科目、TW科目をバランスよく履修することが、卒業につながる学び方です。

2年間で学習する場合

1年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	総合教育科目	情報	2	TR	●				レポート		試験						
	学部共通専門教育科目	住宅概論	2	TR	●							レポート		試験			
		建築史1(近代)	2	TR	●				レポート		試験						
		建築史2(西洋)※または建築史3(日本)	2	TR	●							レポート		試験			
		建築環境工学	2	TR	●							レポート		試験			
		建築材料	2	TR	●										レポート	試験	
		構造力学1	2	TR	●				レポート		試験					レポート	試験
専門教育科目	専門演習テキスト科目	構造力学2	2	TR	●										レポート	試験	
		デザイン基礎1(建築)	2	TW	●		第1課題										
		デザイン基礎2(建築)	2	TW	●			第1課題									
		環境デザイン演習[建築] I - 1	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築] I - 2	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン基礎1(建築)	2	TW	●					第1課題							
		環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●						第1課題						
専門教育科目	専門演習スクリーニング科目 ※履修順序の定めなし (但し、1年次→2年次の順に履修するのが望ましい。)	環境デザイン演習[建築] II - 1	2	TW	●					第1課題							
		環境デザイン演習[建築] II - 2	2	TW	●						第1課題						
		環境デザイン概論[建築]「スター」	1	S			2日間										
		環境デザイン[建築] I - 1「フィールドワーク」	1	S	●							2日間					
		環境デザイン[建築] I - 2「ドローイング」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築] I - 3「立体表現」	1	S	●		2日間										
		環境デザイン[建築] II - 1「空間表現1」	1	S	●					2日間							
2年目	専門教育科目	環境デザイン[建築] II - 2「平面表現」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築] II - 3「空間表現2」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築] III - 1「寸法1」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築] III - 2「環境1」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築] III - 3「集住」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築] IV - 1「住宅架構」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築] IV - 2「表現」	1	S	●										2日間		
2年目	専門教育科目	環境デザイン[建築] IV - 3「CAD」	1	S	●							2日間					
		45 (1年目の修得単位数)															
		翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。															

2年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	学部共通専門教育科目	都市概論	2	TR	●	レポート			試験						卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。		
		建築設備	2	TR	●				レポート		試験						
		建築生産	2	TR	●				レポート		試験						
		建築法規	2	TR	●	レポート			試験								
	専門演習テキスト科目	環境デザイン演習[建築] III - 1	2	TW	●	第1課題									卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。		
		環境デザイン演習[建築] III - 2	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築] IV	4	TX	●							第1課題					
専門教育科目	専門演習スクリーニング科目 ※履修順序の定めなし (但し、1年次→2年次の順に履修するのが望ましい。)	環境デザイン[建築] V - 1「風景」	1	S	●		2日間								卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。		
		環境デザイン[建築] V - 2「環境2」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築] V - 3「場のかたち」	1	S	●	2日間											
		環境デザイン[建築] V - 4「風景と構成」	1	S	●		2日間										
		環境デザイン[建築] V - 5「寸法2」	1	S	●				2日間								
		環境デザイン[建築] V - 6「架構」	1	S	●					2日間							
		「ディプロマ(計画)」							2日間								
2年目	卒業制作1~6	「ディプロマ(展開1~3)」	6	S	●						2日間	2日間	2日間		卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期(1~3月)に履修することはできません。		
		「ディプロマ(表現)」										2日間					
		「ディプロマ(発表)」											2日間				
		28 (2年目の修得単位数)															
			73 (合計修得単位数)														

▶ (※ 1) (※ 2) (※ 3) については本書 p.14 を参照。

3年間で学習する場合

1年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目	情報		2	TR	●				レポート		試験						
学部共通 専門教育科目	都市概論		2	TR	●				レポート		試験						
	建築史1(近代)		2	TR	●				レポート		試験						
	建築史2(西洋)※または建築史3(日本)		2	TR	●										レポート		試験
	建築環境工学		2	TR	●							レポート		試験			
	構造力学1		2	TR	●							レポート		試験			
専門演習 テキスト科目	デザイン基礎1(建築)		2	TW	●			第1課題									
	デザイン基礎2(建築)		2	TW	●				第1課題								
	環境デザイン演習[建築] I - 1		2	TW	●				第1課題								
	環境デザイン演習[建築] I - 2		2	TW	●					第1課題							
	環境デザイン基礎1(建築)		2	TW	●					第1課題							
	環境デザイン演習[建築] II - 1		2	TW	●						第1課題						
専門教育科目	環境デザイン概論[建築]「スター」		1	S			2日間										
	環境デザイン[建築] I - 1「フィールドワーク」		1	S	●							2日間					
	環境デザイン[建築] I - 2「ドローイング」		1	S	●					2日間							
	環境デザイン[建築] I - 3「立体表現」		1	S	●		2日間										
	環境デザイン[建築] II - 1「空間表現1」		1	S	●					2日間							
	環境デザイン[建築] II - 2「平面表現」		1	S	●			2日間									
	環境デザイン[建築] II - 3「空間表現2」		1	S	●				2日間								
	環境デザイン[建築] III - 1「寸法1」		1	S	●										2日間		
	環境デザイン[建築] III - 2「環境1」		1	S	●										2日間		
	環境デザイン[建築] III - 3「集住」		1	S	●										2日間		
34 (1年目の修得単位数)																	

2年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	学部共通 専門教育科目	住宅概論	2	TR	●				レポート		試験						
		建築材料	2	TR	●	レポート			試験								
		建築設備	2	TR	●				レポート		試験						
		構造力学2	2	TR	●							レポート		試験			
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン基礎2(建築)	2	TW	●		第1課題										
専門教育科目	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築] II - 2	2	TW	●				第1課題								
		環境デザイン演習[建築] III - 1	2	TW	●					第1課題							
		環境デザイン演習[建築] III - 2	2	TW	●						第1課題						
		環境デザイン[建築] IV - 1「住宅架構」	1	S	●					2日間							
	専門演習 スクーリング科目 ※履修順序の定めなし (但し、1年次→2年次の順に履修するのが望ましい。)	環境デザイン[建築] IV - 2「表現」	1	S	●								2日間				
		環境デザイン[建築] IV - 3「CAD」	1	S	●					2日間							
		環境デザイン[建築] V - 1「風景」	1	S	●										2日間		
		環境デザイン[建築] V - 2「環境2」	1	S	●			2日間									
		環境デザイン[建築] V - 3「場のかたち」	1	S	●								2日間				
		環境デザイン[建築] V - 4「風景と構成」	1	S	●					2日間							
25 (2年目の修得単位数) 翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。																	

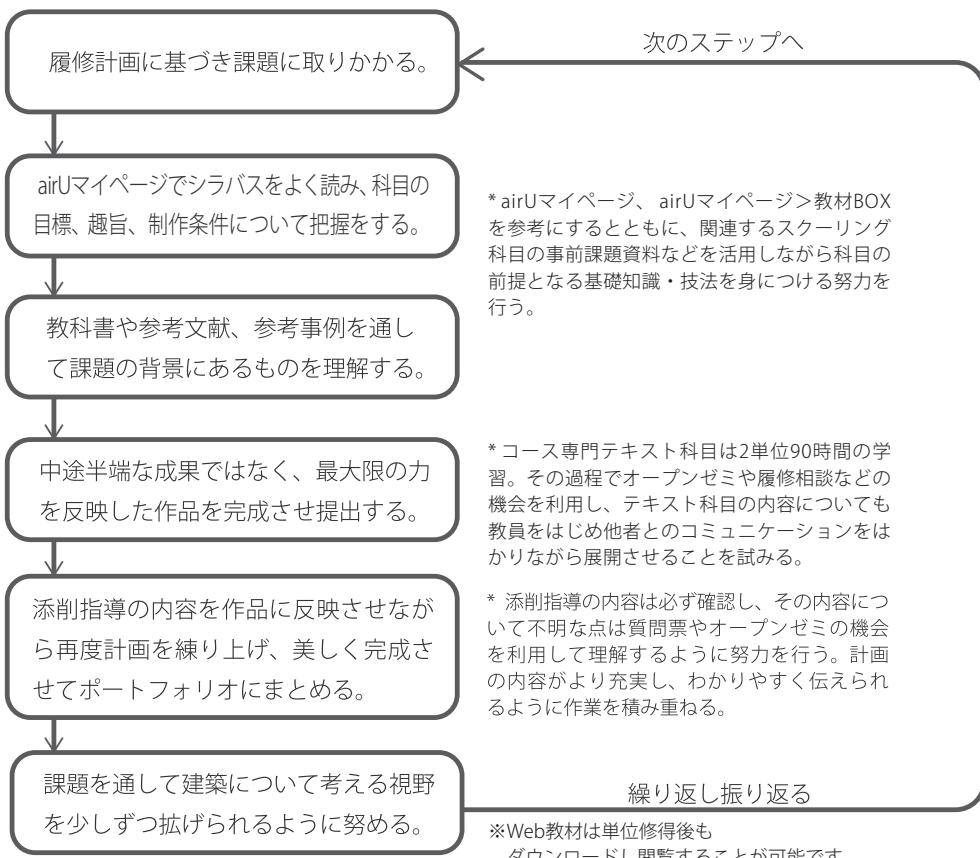
3年目	科目群・区分	科目名	単位数	履修形態(※1)	必修(※2)	春期			夏期			秋期			冬期(※3)		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門教育科目	学部共通 専門教育科目	建築生産	2	TR	●				レポート		試験						
		建築法規	2	TR	●	レポート			試験								
	専門演習 テキスト科目	環境デザイン演習[建築] IV	4	TX	●							第1課題					
		「ディプロマ(計画)」	6	S	●												
		「ディプロマ(展開1~3)」										2日間					
		「ディプロマ(表現)」										2日間	2日間	2日間			
		「ディプロマ(発表)」											2日間				
14 (3年目の修得単位数)																	

	73 (合計修得単位数)
--	--------------

▶ (※1) (※2) (※3)については本書 p.14 を参照。

10. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)

テキスト科目とは、テキスト、参考文献やairUマイページ、airUマイページ>教材BOXで提供されるWEB教材をもとに自宅で学習を進める科目です。通信教育部ではテキスト科目が中心的な授業であり、対面授業であるスクーリングで学んだ内容などを活かしながらシラバスに記載されている課題に取り組みます。課題の成果物はairUマイページや郵送で提出し、教員による添削指導を受けます。



履修ルール編

●履修順序

テキスト科目には着実にステップアップするために履修順序があります。基本的に1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順番に履修してください。年次ごとに履修の前提条件を設けていますので、着手する際には本書pp.10~11「履修条件図」および各科目の「配当年次」「履修の前提条件」「課題提出順序」などを確認したうえで取り組んでください。また、S科目、TR科目、TW科目のバランスのよい履修を心掛けましょう。

●提出期間と返却の目安

► airU学習ガイド>3.学習方法>テキスト科目も参照

課題提出 スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TW	テキスト作品科目	作品 11~20	作品 11~22		作品 11~20	作品 11~21		作品 11~20	作品 11~20		作品 11~22	作品 11~20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											

- ・TW科目：・airU提出は提出期間の初日13:00～最終日13:00大学サーバー着信分まで。
 - ・郵送提出は【必着】、窓口提出は当日窓口受付時間まで。
 - ・返却は提出月度の翌月中旬（10日～20日前後）をめどに行います。
- ・TX科目「環境デザイン演習〔建築〕IV」の提出期間は本書p.7およびairUマイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン演習〔建築〕IVを確認してください。返却は提出月度の翌月中旬（10～18日前後）をめどに行います。

各提出期間の締切後に到着したものは、次の提出期間に受け付けます。注意してください。

●テキスト課題提出物の指針とルール

建築デザインコース専門演習テキスト科目の提出物は科目ごとにルールが定められています。ルールを逸脱した提出物は評価対象外のためD評価（=不合格）となります。その場合、翌提出期間以降に再提出することになるので、各科目のシラバスをよく確認のうえ提出してください。以下の3点は提出物に関する基本ルールです。

①体裁について

- ・実物を提出する場合、提出用紙の書式やサイズ、紙質、枚数、縦横の使い方に指定がある場合は遵守すること。用紙は白色とする。パネル貼り付けは不可とする。
- ・指定用紙フォーマットがあるものはそちらを使用する。

②表現方法

- ・図面は① CADデータを出力／②アナログで手描きのどちらでも可とする。
(ただし、課題の制作条件で指定がある場合はそれに従う。)
- ・図面や模型写真をレイアウトしたプレゼンテーションシートはCADソフトやグラフィックソフトを用いて作成したものを出力してもよいし、A3用紙に切り貼りしてレイアウトしたものをカラーコピーしてまとめてよい。

③著作権について

airU学習ガイド>5. 学習のアドバイス>レポート作成にあたっての内容を確認し、著作権のルールとマナーについて意識をして学習を進める。

●課題の提出方法

課題内容や制作条件により提出方法が異なりますのでシラバス各科目ページの「課題提出方法」を必ず確認してください。指定外の提出方法で提出した場合、受付できません。

再提出時は初回提出方法に準じてください。(初回提出「郵送」→再提出「airUマイページ」は不可。)

●「郵送・窓口」提出時の注意事項

- ・デザイン基礎2、環境デザイン基礎2、環境デザイン演習I-2の提出について、雨に濡れた際などの破損を防ぐため、作品はA3サイズのクリアファイル（市販のもの）に入れてください。
- ・クリアファイル本体に油性ペンを使って楷書で「学籍番号、氏名」を明記してください。
- ・大学指定の作品送付用大型封筒（A3サイズ）を使用してください。
- ・提出物の折り曲げは厳禁です。
- ・返却用宛名シールと切手（発送時と同額の切手を貼付）を提出課題に同封してください。

●「airUマイページ」提出時の注意事項

airU学習ガイド>3. 学習方法>テキスト科目の項を参照し課題提出の手順と注意点を把握してください。提出するファイルの種類や形式などはシラバス記載の基本条件および以下のルールを必ず守ってください。

①作品データはすべてPDF化する（▶「PDF化について」は本書pp.28~29参照）

作品データの提出形式はPDF形式(.pdf)に統一されています。提出フォルダ(.zip)の中身がCADソフト(VectorworksやAutoCADなど)などのソフトウェア固有のファイル形式(.dwgなど)のままで、PDF(.pdf)のファイル形式に変換されていない場合は受付後であっても添削不可(D評価)として返却する。また、PDF化したデータは必ず実際に出力して線の種類や色の使い分け、文字化けがないかを確認する。

②提出ファイルの形式

「PDF 形式 (.pdf)【推奨】」または「Zip 形式 (.zip)」ファイルで提出する。その他の形式で提出された課題は評価対象外として扱う。1つの課題につきファイルは1つしか提出できないため PDF化した作品データ（複数ページ）は1つのファイルに結合して提出することを基本とする。

・PDF 形式 (.pdf) で提出

Adobe Acrobat などの PDF 編集ソフトを利用し、複数ページを1つのファイルに結合して提出する。ファイル名は「氏名（半角、小文字、ローマ字）.pdf」とすること。PDF ポートフォリオを利用することは認めていません。また、MacOS 標準の PDF 出力機能で作成されたファイルの場合、課題提出ができないことがあります。作成時注意してください。▶ PDF 編集ソフトウェアについては、本書 pp.28~29 参照

・Zip 形式 (.zip) で提出

PDF をひとつのファイルに結合できない場合は複数のページをひとつのフォルダにまとめ Zip 形式 (.zip) で圧縮する。

PDFデータのファイル名は以下ルールに従ってつける。

氏名（半角、小文字、ローマ字）.pdf（例：uryuutarou.pdf）

圧縮後のファイル名は「学籍番号.zip」とすること。Zip 形式以外の圧縮ファイルは評価対象外として扱う。特に自己解凍式圧縮ファイルはウイルス対策のため見つけ次第、送信者に通知せずに削除する。

③ファイル容量

提出ファイルの容量は20MB以下にすること。サーバ管理上の上限を設けているため容量を超過したファイルは提出できない。

④提出前にもう一度データを確認する

提出ファイルの不備（指定外のファイル形式、提出データの破損、PDF 変換時のミス、ページ不足、Zip形式ファイルの中身が PDF ファイルに変換されていない、中身が制作条件を満たしていない、誤って別科目の課題データを提出など）についてはすべて評価対象外として扱い、再提出（D評価）となる。ファイルが問題なく開くことができるかどうか確認したうえで提出する。

●課題提出時のトラブル

パソコンやインターネット等のトラブルによって課題提出期間に間に合わなかった場合でも例外的な受付措置はできません。自らトラブルの発生を防ぐ方策を講じてください。万一、トラブルが発生した場合は、コンシェルジュまたは電子メールアドレス（question@air-u.kyoto-art.ac.jp）宛に締切日当日 13:00 までに具体的な内容を報告してください。トラブルの内容を正確に把握するため電話での連絡は受け付けません。コンシェルジュまたは電子メール以外での連絡では対応できませんので、注意してください。

●出力について

作品実物を提出する場合、A3サイズ用紙の出力については自前のプリンタで行うことが制作上最も好ましいが、以下に挙げる方法でも可能です。

①「ネットプリント」を利用

「ネットプリント」を利用するとコンビニでA3 サイズ用紙にプリントすることが可能。

「ネットプリント」<http://www.printing.ne.jp/> を参照。

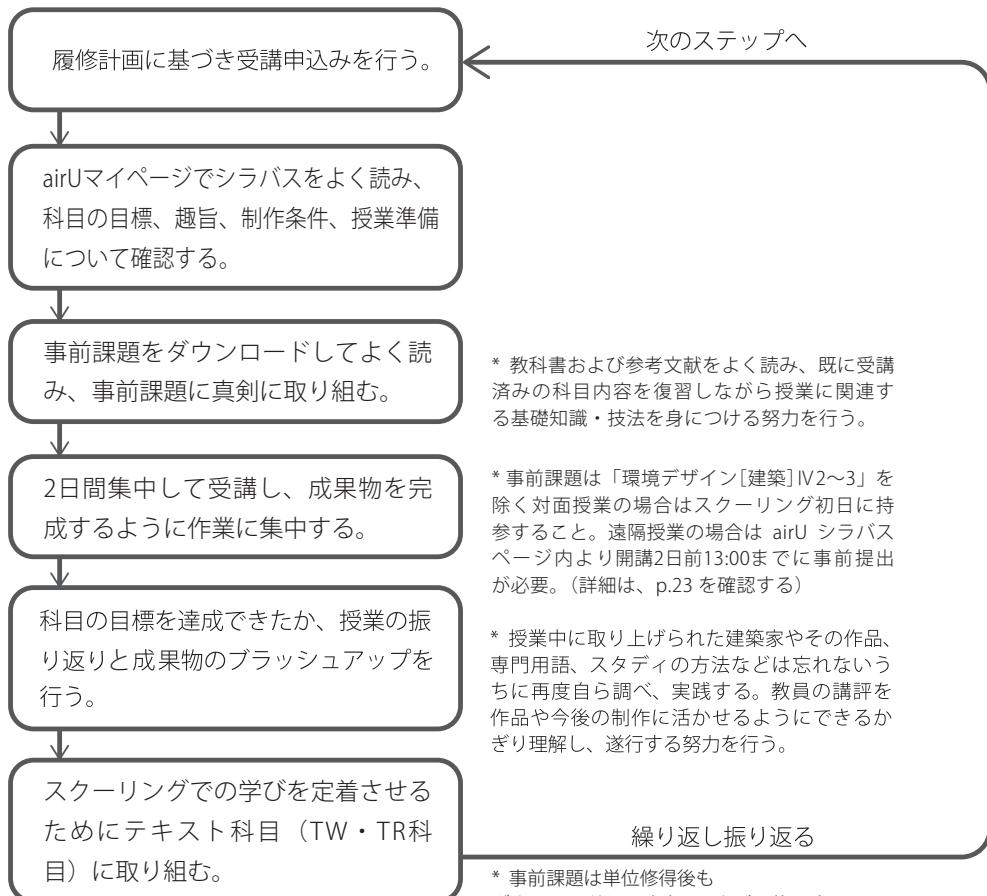
※「ネットプリント」を利用する場合、AutoCAD や Vectorworks 書類はPDFファイルに変換する必要がある。PDF ファイルへの変換方法については本書pp.28~29を参照。

②A4プリンタを使用し、A3 サイズに貼り合わせ

A4 サイズ用紙2枚にプリントして、それらをA3 サイズに貼り合わせて提出する場合はメンディングテープを用い美しく貼り合わせたものを提出すること。セロハンテープで繋ぎ合わせたものなど、乱雑な作品は評価対象外とする。

11. 専門演習スクーリング科目 (S)

スクーリング科目とは、学習用 WEB サイト「airU マイページ」を活用した事前学習と 2 日間の対面授業または遠隔授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。授業における指導・講評をもとに自主的に自宅で作品のブラッシュアップを行い、授業の振り返りを行います。



履修ルール編

●履修順序

1年次配当科目「環境デザイン[建築] I - 1 ~ II - 3」をすべて受講した上で、その成果に基づいて2年次配当科目「環境デザイン[建築] III - 1 ~ IV - 3」→3年次配当科目「環境デザイン[建築] V - 1 ~ 6」へ進むことが基本です。

どうしても都合がつかない場合、1~2年次配当の「環境デザイン[建築] I - 1 ~ IV - 3」は配当年次(※)以外の前提条件を設けていませんので配当年次に到達していれば、1年次配当科目と2年次配当科目の順序を入れ替えて受講することも可能です。しかしながら、2年次配当科目の授業は1年次配当科目を、3年次配当科目の授業は2年次配当科目を受講していることを前提に進めていきますので、そのことも念頭に受講計画を立ててください。

「環境デザイン[建築] I - 1 ~ II - 3」、「環境デザイン[建築] III - 1 ~ IV - 3」、「環境デザイン[建築] V - 1 ~ 6」は、それぞれ履修順序を定めない緩やかな課題設定としているため、自由な順に履修することができます。同一内容のスクーリングを年間複数回開講しているので、各自のスケジュールに合わせて授業日程を選択してください。

なお、やむを得ない事情による欠席、自然災害などによる授業の休講等もありますので、そのような状況にも対応できるよう受講計画には余裕を持たせてください。

(※)「配当年次」は履修のための前提条件でありその年次に到達していないと履修はできません。1年次入学生の場合、入学1年目が1年次、2年目が2年次、3年目が3年次となる。3年次編入学生の場合は入学1年目から3年次となる。

●履修の前提条件

1・2年次配当スクーリング科目は履修の前提条件はありませんので、配当年次に到達していれば履修可能です。学習効果の面から1年次配当科目を合格後、2年次配当科目へ着手するという段階的な履修方法をおすすめします。スクーリングが先行してテキスト科目がたまると学習が停滞します。3・4年次配当のスクーリング科目は履修の前提条件が設けられています。スクーリングの申し込みまでに履修の前提条件を満たしていなければ、申し込みできません。専門演習スクーリング科目(S)、学部共通専門教育科目(TR)、専門演習テキスト科目(TW)のバランスのよい履修を心掛けましょう。

▶各課題の提出締切日はシラバス参照。

<スクーリング科目の履修の前提条件>

配当年次	前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込までに「環境デザイン基礎1(建築)」「環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1」を合格済みのこと	
4年次 (卒業制作)	卒業制作1、2 卒業制作3~6	前年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること スクーリング申込までに履修の前提条件を満たしていること

配当年次が3年次以上の方（1年次入学生は入学3年目、3年次編入学生は入学1年目）は、スクーリング申し込みまでに専門演習テキスト科目「環境デザイン基礎1(建築)」「環境デザイン演習[建築]Ⅱ-1」が合格済みであれば3年次配当科目「環境デザイン[建築]V-1~6」の受講が可能です。

※「合格済み」とは、成績（履修状況）が「単位修得見込み」または「単位修得済」であることを指します。

※「受講済みであることを前提」「受講済みであることが望ましい」とは受講済みであることを前提に授業を実施しますが、受講済みであることを必須の条件としていないことを指します。

●スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目は、「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。よって、事前課題を期日までに提出していない場合は、受講成立条件を満たしていないということで単位認定対象外とします。

欠席、遅刻、早退、中抜けは「授業放棄」と見なされ、確認された段階で欠席扱いとなり成績評価対象となりません。十分に注意してください。

やむを得ない事情により一時的に欠席するような事態が発生した場合は、その旨を速やかにコースまでコンシェルジュまたは電子メールでお知らせください。

申し込み編

▶詳細はairU学習ガイド>3.学習方法>スクーリング科目(S)参照

●申込方法（先行募集）

スクーリング科目はおよそ3ヶ月に1回、年に4回の先行募集申込期間が設定されています。申込期間内にairUマイページから申し込んでください。申込時期になっても大学からのスクーリング申込案内は送付されませんので、申込スケジュールを確認のうえ履修計画にもとづき、期間内に申し込んでください。

●キャンセルについて

スクーリング受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10%~100%のキャンセル料が発生します。事前に受講計画を立てた上で申し込みをしてください。

●追加募集申込

定員に空きがある科目はスクーリング開講日の30~5日前までairUマイページにて随時追加募集を行います。空きの無い場合は追加募集は行いませんので、受講予定の科目は先行募集で申し込んでください。

追加募集締切以降は、申込受付はできません。ご注意ください。

●卒業制作（遠隔 E 日程）について

卒業制作を遠隔で受講する場合の配信地は以下の通りです。卒業制作1～4は1日程しか設けていませんが、卒業制作5、卒業制作6は2日程設けていますので、申し込み時ご注意ください。

	412E	422E	432E	443T	452E	454E	463E	464E
配信地	京都	東京	京都	東京	京都	東京	東京	京都

準備編

●事前課題

スクーリング授業は自宅学習として事前に取り組む事前課題が必須です。スクーリングと事前課題は一体の内容として構成されています。2日間という集中した授業で学習効果をあげるためにも事前学習の内容は受講1ヶ月前にはairUマイページにて確認し、相応の時間をかけて事前課題に取り組んでください。スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。スクーリング受講までにairUマイページより各科目の事前課題に取り組み、対面授業の場合はスクーリング当日に持参してください。遠隔開講（E表記）の場合は開講の2日前13:00までにデータサイズを20MB以内に圧縮し、airUシラバスページ内より提出してください。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、単位認定対象から外れますので、ご注意ください。事前課題において指示がある科目は各自プリントアウトのうえ持参または準備をしてください。

なお、一部CAD科目「環境デザイン〔建築〕IV-2（表現）」「環境デザイン〔建築〕IV-3（CAD）」においては、対面授業においても事前の課題を開講の2日前13:00までにairUから提出するようシラバスに記載しています。事前に確認してください。

※PDFポートフォリオを利用することは認めていません。

●持参物（準備物）・使用教材

airUマイページの各スクーリング科目シラバスに掲載している【各自必ず持参（または準備）】は自己負担で購入し事前に用意をしてください。【可能な限り持参（または準備）】は用意をすることでスムーズに制作ができるものです。特に遠隔授業では道具類を授業中に購入することが出来ませんので、シラバスをよく読み余裕をもって準備をしてください。

▶本書p.30「制作に必要な道具」を参照

●ノート型パソコン持参のスクーリング

- 2年次スクーリング科目「環境デザイン〔建築〕IV-2（表現）」「環境デザイン〔建築〕IV-3（CAD）」の対面開講においてはノート型パソコンの持参が必須となります。遠隔開講の日程を受講される場合はご自宅にPCの準備が必要です。PCの形式は問いません。
- 受講前に授業で使用するPCにCADソフト「AutoCAD」（学生版は無償）がインストールされており問題なく起動することを確認しておくこと。「AutoCAD」（学生版）のインストールには学生証のスキャン等を使用した認証が必要になります。最大2週間程度を要する場合もありますので、早めにインストールを済ませるようにしてください。ソフトウェアのインストールなど授業で使用するパソコンの準備に不安のある方は早めに研究室へご質問ください。（▶本書pp.27～29参照）
- PCを使用する対面スクーリングでは「学内LAN利用アカウント」を必ず持参してください。忘れるとな内LANに接続することができません。「学内LAN利用アカウント」は入学許可後、全学生に発行し本学情報システム課から郵送されています。

●個人パソコンの学内LAN接続方法

持参したノート型パソコンを使用する対面のスクーリング授業では、個人のパソコンを学内の無線LANに接続し、インターネットを利用します（有線接続はできません）。大学で無線LANに接続するときには、まずははじめに個人パソコンにwifiの接続設定を行ったうえで、「学内LAN利用アカウント」を入力します。「学内LAN利用アカウント」は利用の都度、入力が必要となりますので必ず持参してください。

学内LANを利用するための設定方法は「学内LAN個人パソコン接続利用ガイド」に記載されています。以下のURLにアクセスし事前に確認しておいてください（設定作業はスクーリング当日に行います）。

学内LAN利用（通信教育部向け） <http://gian.kyoto-art.ac.jp/cclan/>

▶詳細はairU学習ガイド>6. Web利用参照。

▶「学内LAN利用アカウント」再発行についてはairU学習ガイド>6. Web利用参照。

●遠隔授業（Zoomを利用した2日間のオンライン授業）受講にあたっての注意事項

・Zoomの利用にあたって

各スクーリング日程のうち、遠隔開講（E表記）日程では2日間の授業をビデオ会議アプリケーションZoomを利用してご自宅等からオンラインで受講します。視聴環境の都合から建築デザインコースではスマートフォン・タブレット端末ではなくPCでの受講を必須としています。airU学習ガイド>6. Web利用>Zoomの利用について>オンライン会議ソフトウェア「ZOOM」についての資料を確認のうえ、事前にZoomのインストールや接続テストを行うようにしてください。

また、コース専門教育科目ではZoomの氏名を「学籍番号_氏名」の形式に事前に変更して参加し、授業時間中はカメラON、マイクOFFの状態に設定してください。教員の指示に従って適宜ON・OFFの操作を行っていただきます。長時間カメラがOFFになっている、教員からの呼びかけに長時間返答が無いなどの場合、単位認定の対象外となる場合があります。オンラインでのスクーリング受講には安定した通信環境が望まれますので有線LANでの接続を強く推奨します。通信環境が整わない場合は対面開講日程を受講するようにしてください。なお、CADの遠隔スクーリングの受講には、PCの標準モニターと別に、もう一つのモニターの準備を必須とします。詳細は各科目のシラバスにてご確認ください。

当日編

●スクーリング開講時間

1講時	9:30～10:50
2講時	11:00～12:20
3講時	13:20～14:40
4講時	14:50～16:10
5講時	16:20～17:40

2日間全10講時を左記時間割にて開講します。ただし、校外開講スクーリングなど、必要に応じて時間帯を変更する場合があります。

17:40が授業終了ですが、講評会がやむを得ず長引く場合があります。終了後すぐに出発しなければ帰宅の交通機関に間に合わない場合は担当教員にその旨を伝え、講評を受ける順番を早めてもらってください。

●対面開講時の教室の使用時間

朝は8:30に開場します。授業終了後は20:00まで使用できます。（20:00には完全に退室できるように片付けをしてください。）ただし情勢等を考慮し教室の使用可能時間を変更する場合もあります。

●スクーリングで制作した作品について

作品のデータを保存しておくことは、ポートフォリオを作成するうえで、重要な材料の一つとなります。ポートフォリオの作成に取りかかりやすくするために、模型を制作する対面のスクーリング授業では模型を撮影できるよう仮設の撮影場所を設置します。各自デジタルカメラを持参して模型写真の撮影を行ってください。また、スクーリングで制作した成果物は必ず持ち帰ってください。持ち帰るための袋や梱包材などは、各自準備が必要です。

●スクーリング中の撮影・録音などについて

著作権・肖像権・個人情報などの保護を目的とし、授業（板書や配付物も含む）や授業風景を断りなく録音・録画・公開すること、配付物の（学習目的以外の）複製、授業中に制作された作品のうち自分以外の作品のビデオ撮影・写真撮影・複製などの行為を禁止します。

▶詳細はairU学習ガイド>3.学習方法>スクーリング科目（S）>受講にあたって参照。

振り返り編

スクーリングで学んだことをしっかりと身につけるために受講後には復習し授業で未完成の作品は完成させ模型写真や図面等を美しい光のもとで撮影しておくと良いでしょう。最終的には、それらをポートフォリオ制作のための素材にしてください。

自分の作品は自分自身と思い、次の制作に生かす糧としてください。

12. 学部共通専門教育科目 (TR) ※必修科目

学部共通専門教育科目 (TR) では専門演習テキスト科目 (TW・TX)、専門演習スクーリング科目 (S)だけでは習得できない各分野の専門知識を補完できるように教科書を中心にレポート課題に取り組み、合格後は単位修得試験を受験します。

建築デザインコースにおける学部共通専門教育科目 (TR) の必修科目はシラバス・教材の閲覧、レポート提出、添削指導、単位修得試験の受験まですべて airU マイページ (Web) 上での履修となります。

► airU 学習ガイド> 2. 履修・学習参照。



●履修順序

学部共通専門教育科目では特に履修の順序はありませんが、履修の推奨年次を本書 pp.8~9 「カリキュラムマップ」に記載しています。専門演習スクーリング科目 (S)、学部共通専門教育科目 (TR)、コース専門演習テキスト科目 (TW) のバランスのよい履修を心掛けましょう。

●提出期間と単位修得試験

課題提出・単位修得試験 スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8	レポート 21~30		試験 1~8

- ・airU 提出は提出期間の初日 13:00 ~ 最終日 13:00 大学サーバー着信分まで。
- ・返却は提出月度の翌月下旬 (20 日 ~ 28 日前後) をめどに行います。
- ・各提出期間の締切を過ぎた場合、翌提出期間での受付となりますので注意してください。

●単位修得試験

TR 科目はレポート合格後、単位修得試験に合格しなければ単位認定されません。指定の期間内に忘れず受験してください。Web 試験の事前申込は不要です。

●提出および受験にあたっての注意事項

各科目のシラバス、および airU 学習ガイド> 2. 履修・学習> 「テキスト科目 (TR)」をよく確認してください。

●レポート課題における二次利用と剽窃

大学で論文・レポートを書く際にはいくつかのルールがあります。

airU 学習ガイド> 5. 学習のアドバイス> レポート作成にあたって> 論文・レポートを書くためにでは「レポート執筆の基本」「構成」「人名や資料の表記」「註と参考文献」「剽窃と著作権」などレポート執筆にあたってのルールについて説明されています。レポート課題に取り組む際には必ず目を通してください。

なお、提出物に二次利用や剽窃が認められた場合は学生としてあるまじき行為として厳正に対応します。airU 学習ガイド> 5. 学習のアドバイス> レポート作成にあたってにあるレポートの書き方 (動画) 他の関連資料に必ず目を通してください。

13. 各種教材

主な教材の一覧です。情報のある場所を把握して必要な時にすぐにたどり着けるようにおきましょう。ここでの説明は、特によく参照すると思われる内容を抜粋して記載しています。詳細は、それぞれの教材で確認をしてください。

学習サイト

airU マイページ



授業・学習サポートの個人ページ

- ・シラバス / 課題 / 教材の閲覧 (教材BOX)
- ・課題提出 / 単位修得試験
- ・スクーリング申込等各種手続き
- ・質問 (コンシェルジュ / チャットボット)
- ・履修プラン
- ・airU 学習ガイド

学習のルール

airU学習ガイド



airUマイページにおける
学習の進め方

コースガイド



コースの学習ルール

- ・履修条件図
- ・スクーリング日程表
- ・履修モデル
- ・パソコンとソフトウェア
- ・学習支援

雲母 Kirara



大学からの重要な最新のお知らせ

- ・学習全般に関する連絡
- ・デザイン科 / コースからの連絡

※画像はイメージです

学習資料

教科書



課題に取り組むための教科書

- ・必要に応じて参照

参考文献



建築の専門書 / 専門雑誌

- ・課題制作のヒントが満載
- ・毎月できるだけ参照

芸術文化情報センター



参考文献検索の入り口として

- ・本学の大学図書館サイト
- ・京都 / 外苑キャンパスの蔵書検索
- ・自宅近辺図書館の蔵書検索

14. パソコンとソフトウェア

パソコン

建築デザインコースでは、2年次の CAD 系の 2つのスクーリング「環境デザイン〔建築〕IV-2(表現)、IV-3(CAD)」を対面開講で受講する場合、ノート型パソコンを持参していただきます。また、3、4年次スクーリングでは、ほとんどの方がご自身のパソコンを持参、または利用して設計課題に取り組んでいます。

OS は、Windows を推奨しますが、(iOS (Macintosh) でも使用可能です。

パソコンの必要スペックは、CAD ソフトウェアの推奨動作環境によって決まりますので、CAD ソフトウェアの項を参照して決定してください。

CADソフトウェア「AutoCAD」

スクーリングでは、「オートデスク株式会社」から販売されている「AutoCAD」(オートキャド) という名称の CAD ソフトウェアを使用します。使用するのは2年次スクーリングからです。新入生については新入生ガイダンスや「スターター」で説明しますので、その後のインストールでかまいません。指定のスクーリング以外では CAD ソフトウェアの指定はありませんので、他の CAD ソフトウェアを使用していただいて結構です。

1. AutoCAD 学生版

「AutoCAD 学生版」とは、「オートデスク株式会社」が、学校教育法で定められた学校に所属する学生が個人的な学習目的で使用できる無償の教育支援プログラムのひとつです。在学中の学習目的にのみ使用可能であり、卒業後は使用できません。

2. ソフトウェアの入手方法ダウンロード

ソフトウェアはオートデスク株式会社の Web サイトからソフトウェアのダウンロードして入手します。オートデスク株式会社が運営する Education Community (エデュケーションコミュニティ) で最初に個人のアカウントを作成する必要があります。下記サイトにて新規アカウントを作成し、その後ご自身のパソコンの OS に適した AutoCAD のソフトウェアをダウンロード、インストールしてください。
2023 年度の授業運営は AutoCAD 2022 に基づいて行います。新たにインストールの際は、「AutoCAD 2022」以降をインストールしてください。

ダウンロードサイト <https://www.autodesk.co.jp/education/free-software/autocad>

3. ライセンス

- ・「オートデスク株式会社」が提供する学生版は同一製品、同一バージョンについては、1人1ライセンスです。
個人のデバイスに最大2台までインストール可。
- ・学生版は個人使用に限定されますので、ユーザ登録は個人名で受け付けます。
- ・卒業後、退学後の使用はできません。
- ・学生版を用いて実務設計を行うことはできません。

4. サービスの範囲

AutoCAD 学生版は、インストール、操作方法などについてオートデスク株式会社のテクニカルサポートを受けることができません。操作方法に関してわからない点があれば、airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン〔建築〕IV-2、IV-3 > Web 教材やオートデスク株式会社が運営するサポートラーニングのサイト (<https://knowledge.autodesk.com/ja/support>) を確認してください。

5. 動作環境

推奨動作環境はオートデスク株式会社 Web サイト>サポートとラーニング>動作環境にてご確認ください（「AutoCAD の動作環境」で検索してください）。

本コースの学習で使用するにはこちらのスペックで問題ありません。「環境デザイン [建築] IV-2 (表現)、IV-3 (CAD)」のスクーリング授業までに「AutoCAD」をインストールし、動作確認をしておいてください。インストールには認証に 2 週間程度時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

Vectorworks学生单年度版

コース指定のソフトウェアではありませんが、「Vectorworks 学生单年度版（春版・秋版）」（20,000円税別／2022年度実績）の購入が可能です。

購入方法を含む詳細は、airU学習ガイド>4. Web利用>「特別価格で購入できるソフトウェア」より確認してください。なお、受注発注のため申し込みから商品が届くまで2週間程度かかります。

PDF編集ソフトウェア

airU マイページから作品データを提出する際は、データは全て PDF 形式に変換していただきます。

Windows 環境で作業をする場合、Windows では、印刷ダイアログ画面で、プリンターを「Microsoft Print to PDF」に設定して保存（印刷）します。Windows10 より前のバージョンの場合は、PDF 化するためのソフトウェアのインストールが必要となります。

Apple 社の Mac OS X 以降の Mac を使用している場合は、特別な準備がなくとも PDF 化することが可能です。

1.PDF 化するソフトウェア

データを PDF 化するための代表的なソフトウェアは「Adobe Acrobat DC」があり、複数のファイルから単一ファイルへの結合やページの整理などが容易で便利です。

「Adobe Acrobat」を使用して複数のファイルを 1 つにまとめる方法は以下の Adobe の Web サイトを参照してください。

<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/4567.html>

フリーソフトも多種ありますが、登録が必要なものや使用毎に WEB ページが表示されるなどの制限がありますので、ご自身で使いやすいものを選んでください。

それぞれのソフトで複数の PDF ファイルを 1 つのファイルに結合する方法を各自で学習し、提出時には単一のファイルで提出するようにしてください。

【Adobe 社 Acrobat】※（有償・推奨） <http://www.adobe.com/jp/products/acrobat.html>

【BullZip PDF Printer】（無償・日本語版有） <http://www.bullzip.com/>

【pdf_as】（無償・日本語版有） https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/pdf_as/

※ airU 学習ガイド>6. Web 利用>特別価格で利用できるソフトウェアご参照

特別価格で利用できるソフトウェア

学生・教員向けの「Academico Navi (アカデミコナビ)」では、Adobe Acrobat を含む Adobe 製品を特別価格で利用できます。ソフトウェア「Adobe Creative Cloud (12ヵ月)」、およびコンピュータ本体なども扱っています。(「Adobe Creative Cloud (12ヵ月)」の購入にあたっては、Adobe 直販サイトで初年度のみ限定価格での提供が行われていますのでそちらもご確認ください。更新購入は、「Academico Navi (アカデミコナビ)」、Adobe 直販サイトともに同金額です。)

「Academico Navi」は airU マイページトップ画面右下にあるスクロールバーからアクセスしてください。ログインに必要な認証コードはバナー内に表記されています。

Adobe 製品には卒業後に設計関係の業界への就職や転職を目指されている方が頻繁に使用することになるソフトウェアが複数ありますので、在学中に使い始めることを強く推奨します。

その他

●コンピュータで文書作成する際の文字フォント

コンピュータ上で表示されるほとんどの文字フォント（字体）は各コンピュータ固有のものです。つまり制作に使用しているコンピュータにインストールされた文字フォントは他のコンピュータにデータを移しした際に正しく表示されるとは限りません。相手側の使用するコンピュータの機種や OS の種類によってはかなりの差異が生じますので、ゴシック体や明朝体のようにスタンダードなフォントを使用してください。

●PDF 化する際の文字化け

PDF 化した時に文字が表示されない場合には、文字を日本語フォントに置き換えてください。Arial などの英語フォントのまま日本語を入力する場合には画面上では正しく見えていても印刷されない現象が起こります。また、日本語フォントを使用しても、機器やアプリケーション等の環境により、文字組みが崩れるなどの不具合も発生します。airU で課題を提出する場合でも提出前に必ず一度プリントアウトをして確認してください。

●機種依存文字

作品ファイル中に用いる文書において、コンピュータの機種によって異なった表示がされてしまう文字（機種依存文字）の使用は避けてください。機種依存文字とはコンピュータの機種や OS の種類によっては全く異なった文字に表示される文字で、使用しても正しく表示されません。具体的な文字は、「機種依存文字」で検索して調べてください。

15. 制作に必要な道具

する スケッチ 道具	①	ドローイングスケッチブック	A5~A4版程度の持ち運びがしやすいサイズのスケッチブックであれば可
	②	鉛筆 (4B, 3B, 2B, B, HB, H, 2H 程度)	ドローイングの授業では全種類必要
	③	練り消しゴム	ドローイングの授業では必要
	④	その他自分の好きな筆記用具	自分の描きやすいもの
	⑤	巻尺 (コンベックス)	寸法を測る(建築を勉強するなら必ず携帯)
図面を描く道具	①	製図用シャープペンシル (0.3・0.5・0.7・0.9 程度)	製図用(ペン先が長い)
	②	製図用消しゴム	製図用(一般的なものより堅め)
	③	製図用ペン (0.1・0.3・0.5・0.7程度)	製図用(線の太さに変化を出す)
	④	色鉛筆、マーカー等の色付ペン	軽らかくて描きやすいもの(12色程度)
	⑤	A2 ロールトレーシングペーパー (40g)	特に構想イメージの際に使用
	⑥	A4 セクションパッド(方眼紙 5mm 程度)	特に構想イメージの際に使用
	⑦	三角スケール (30cm)	縮尺を変換
	⑧	三角定規30度、45度 (30cm)	垂直線を描く際などに使用
	⑨	字消し板	細かな部分を消す際に使用
	⑩	円テンプレート	小さな円を描く際に使用
	⑪	勾配定規 (20cm 型)	任意の角度の直線を描く際に使用
	⑫	製図用ブラシ	図面の清掃をする際に使用
	⑬	ドラフティングテープ	仮止め用
	⑭	コンパス	円や曲線を描くのに使用
	⑮	製図板、T定規	手描き製図に使用
	⑯	平行定規	手描き製図に使用 ※A2平行定規があれば製図板とT定規は必要ありません
模型などを制作する道具	①	カッター(大)	ダンボールなどの厚い素材を切る時に使用
	②	カッター(小)	薄い材料用、30度の刃を使用
	③	カッター替刃(大)	数枚あれば十分です
	④	カッター替刃(小) 30 度	頻繁に折る為、多めに準備すること
	⑤	刃折器	折った刃を安全に捨てる為
	⑥	金属製ものさし (小 / 15cm)	カッターを使用して直線を切断する際に使用(各サイズ必要)
	⑦	金属製ものさし (中 / 30cm)	
	⑧	金属製ものさし (大 / 60cm)	
	⑨	スコヤ (L型定規) 15cm	直角に切断する際に使用
	⑩	スチのり (小)	スチレンボード、発泡スチロールの接着用
	⑪	木工用ボンド速乾 (小)	紙、木材接着用
	⑫	ドラフティングテープ	仮止め用
	⑬	両面テープ	大きい面を接着する際にあると便利
	⑭	ピンセット	細かい部材を接着する際等に使用
	⑮	カッティングマット (A2)	机をいためないよう厚めのもの
	⑯	スプレーのり	大きい面でも均一に塗布できるので便利
	⑰	ソルベント	のりなどをはがすための剥離材
	⑱	ディスペンサー (ソルベント用)	ソルベント専用容器、ソルベント使用に必需品
	⑲	クリーナー	道具・材料の汚れをとるのに使用
	⑳	虫ピン	仮止めする際などに使用
	㉑	紙やすり	部材を仕上げるのに使用
	㉒	スタイルカッター (プロクソン)	スタイルフォームや発泡スチロールを美しく切断する際に使用

airU マイページに道具の紹介・解説を掲載しています。各道具類は授業で必要になった時点で購入していただいて構いませんが、余裕をもって揃えるようにしてください。手持ちの道具がある場合は新規購入は不要です。

- ・図面を描く道具: airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン[建築]II-2(平面表現) >事前課題
- ・模型などを制作する道具: airU マイページ>カリキュラム一覧>環境デザイン[建築]I-3(立体表現) >事前課題
- ・メーカー・品番等は下記画材店の Web サイトを参照。

●教材の購入について

道具・教材類は一般的な文具店や画材店で購入できます。お近くに適当な販売店が見つからない場合は下記の通信販売店をご利用ください。全て通販に対応しており、airU キャンパストップページのバナーからのリンクで本学通信教育部専用サイトへアクセスできます。

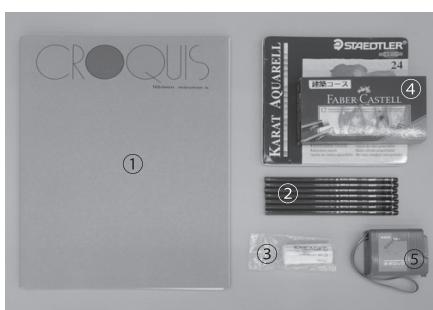
[京都] ADストア(大学購買部) <https://www.adstore-kua.co.jp/>

[東京] レモン画翠(画材店) <https://lemongasui.co.jp/>

自宅での理想的な学習環境



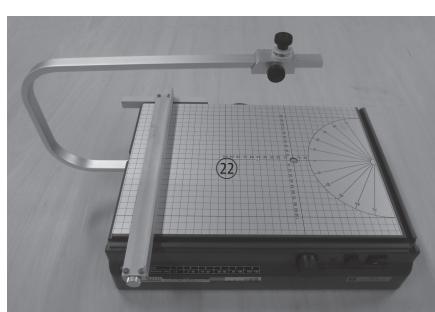
スケッチする道具



図面を描く道具 (環境デザイン[建築] II-2 平面表現>事前課題>「3. 道具を知る」を参照してください。)



模型などを制作する道具



プリンター ※イメージ



Brother HP より引用

16. 学習支援

オープンゼミ（コース限定なんでも学習相談会）

オープンゼミとは、事前に告知した時間に教員が待機し、学生の皆さんからの質問や相談に対応する学習会です。主に専門演習テキスト科目に関する質問や相談を受け付けますが、それ以外にもスクーリング授業に関する質問や、その他日常の学習の進め方、卒業後の進路相談など、可能な限り、あらゆる相談事に対応したいと考えています。

各キャンパスまたはZoomを利用したオンライン形式で開催し、各月1回程度の開催を予定しています。日程・開催場所・申込方法については、airUマイページ>「お知らせ」でお知らせしますので、ご確認ください。テキスト科目の履修がなかなか進まなくて苦労している方は学友をお誘いのうえ、奮ってオープンゼミに参加してください。

テキスト科目説明会／学習会

1～3年次のテキスト科目（TW科目）について説明会を開催し、課題のポイント説明や質問にお答えする場を設けています。学習会では教員と一緒に実際の課題を取り組むことが可能です。開催日程と参加方法・申込方法はairUマイページ「お知らせ」にてお知らせいたします。

airUコミュニティ

京都芸術大学通信教育課程の在学生、卒業生、修了生にコミュニティツールとしてご利用いただけるアプリです。airUコミュニティを通して在学生同士、卒業生同士、在学生と卒業生の繋がりを広げていただくことを期待しています。

履修相談

履修相談とは、スクーリング授業中に授業担当外の教員が授業内容以外の履修相談に応じます。概ね京都／東京で毎月1回のペースで行っています。わざわざ質問する程でもないけれども疑問に思っているようなことなど、様々なご質問をお受けしますので気軽にご相談ください。

特別講義

建築にまつわるデザインや思想についての理解を深める機会として、特別講義を開催します。airUマイページにお知らせするとともに公開の許可をいただいた過去の特別講義をインターネット上の動画で閲覧することができます。また、芸術文化情報センターでは過去の特別講義のDVDを閲覧できます。

17. 卒業制作カリキュラムマップ

卒業制作に着手するためには、各自定められた要件を所定の期日までに満たしておかなければなりません。
そのためには全体の流れを早めに理解しておく必要があります。本書 pp.6~7 カリキュラムマップを参照し計画的に履修を進めるようにしましょう。

